

シラバス

教 科	科 目	単位数	学 年	コ ー ス	組
外国語	英語コミュニケーションⅢ	6	3	理系GA	7~10

教科書	ELEMENT English CommunicationⅢ(啓林館)	副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・Cutting Edge Blue(エミル出版) ・必携英単語LEAP(数研出版) ・共通テストリスニング分野別10min.(エミル出版) ・Ready to Present(NATIONAL GEOGRAPHIC LERNING)

科目の目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、5つの領域において言語活動及びこれら結び付けた
	統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーション
	を図る資質・能力を養う。

科目の概要	教科書のトピックを中心に、言語活動を通じて積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
	週1時間はALT主導のもとReady to Presentを用いて英会話の授業を行い、実践的なコミュニケーション能力を養う。
	またリスニング教材を使用し共通テストに向けたリスニング能力を養う。長文読解教材も使用し、思考力や表現力を養う。

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」	②「課題対応力」 ③「論理的思考力」 ④「原因分析力」 ⑤「傾聴力」 ⑥「受信・発信力」	⑦「協働力」 ⑧「行動力」 ⑨「自己管理能力」 ⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを聞いたり読んだりして内容を捉え、論理性に注意して話したり書いたりして伝え合う技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりして、話し手の意図や概要、要点を捉えている。また、それらについて、論理性に注意して書いたり話したりして伝えている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評 価 の 方 法	・定期試験 ・小テスト	・英語による言語活動(発表等) ・課題/活動への取り組み ・定期試験	・課題提出状況 ・单元ごとの振り返り
定期試験(4回)、課題や言語活動などへの取り組み状況、授業時の小テスト等を総合的に判断して評価する。			

